

## 浅間神社だより

### 春の例大祭

4月25日(月)は河口の神社(延喜式内名神大社浅間神社)の例大祭です。神社の祭事を代表する伝統の祭りを地区の皆さんで盛大に祝いましょう。

#### 祭例行事

4月23日 地区全戸の奉仕により、神社境内を清める清掃

4月24日 宵祭り 神社内外の飾りつけ、町内に注連縄の飾りつけ、本祭りの準備、おこもり

4月25日 本祭り 午前10時30分頃から無形文化財 稚児の舞 奉納  
午前11時30分から式典

午後1時ころから無形文化財 稚児の舞 奉納 午後3時まで

午後3時 御神輿 発御(巡幸)

→産屋ヶ崎御旅所→町内巡幸→西川橋御旅所→還御 午後7時30分

4月26日 裏祭り 神社内外の飾りつけの片付、町内注連縄飾りつけの片付、直会

### 祭りの由来

例大祭は稚児の舞の奉納と、御神輿の御神幸が挙行されます。稚児の舞は祭神へ奉謝の誠を奉げる舞で、御幣の舞などが奉納されます。

御神輿の御神幸は、祭神、木花開耶姫命の御子、彦火火出見尊と、皇后豊玉姫命二柱の神の間に誕生された孫、ウガヤ草葺不合尊をお見舞いする祭儀です。河口の町内を巡幸する御神輿には、御神霊と産着が納められ、産屋ヶ崎神社で式典が執り行われます。このお祭りは祭神が孫の誕生を見舞うことから、「孫見祭」と言われます。

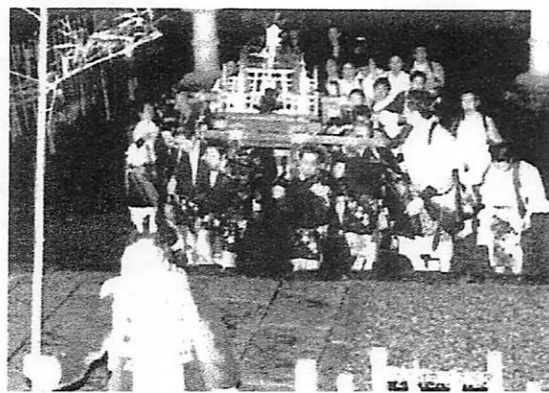
4月25日午後3時、神社から産屋ヶ崎の御旅所を目指し、御神輿が巡幸されます。この御列は大胴を先頭に神馬、天狗、鉾、神官、天狗、御神輿、社名旗、高張、長持、賽銭、稚児、一般のお供と続きます。「メソウ、メソウ」の掛け声も賑やかに、天狗は竹を地面に打ちつけ、時折爆竹を鳴らし、御神輿の行く先を清めます。産屋ヶ崎神社で神事を終えた御神輿は西川橋御旅所を目指し、河口地区の結界をまさに縦断します。



図-1 例大祭の馬

### 今年の宮世話のお願い

神社の祭礼など諸行事の執行にあたり、地区(氏子)の慣例により、宮世話当番があります。今年は第3自治会の第9組と第10組に御苦労いただきます。お仕事などがあり、ご多忙とは存じますが、河口の伝統である神社の行事にご協力くださいますよう、よろしく願い申し上げます。



### 春の例大祭と「めまき」

河口浅間神社の春の例大祭は、祭神、木花開耶姫命が孫のウガヤフキアエズの誕生を見舞う祭儀で、別名「孫見祭」とも言われていますが、これとは別に「めまき祭」とも言われています。

河口地区は鎌倉往還の主要な宿駅であり、神社を核として発展した御師の里を形成していました。富士山信仰の道者は富士山登拝を前に御師宅に身を寄せ、身を清め、大願成就の祈禱を受けていました。「めまき」はこの時代の御師文化から発生し、現在に伝わる料理であると考えられています。めまきの芯には河口湖で採れるワカサギなどの小魚をいれ、これを巻くアラメコンブは海藻ですが、往還を流通する物資として海から離れた河口の地でも入手できたのでしょう。三角形に形を整え、巻終わりを竹で留めた形は、姫が十二単衣に懐剣を持つ姿とか、富士山の形を模したなどの説があります。

富士山と富士山信仰、河口浅間神社と御師文化から発生した「めまき」は、春の例大祭を前に各家庭で準備され、祭の祝いの郷土料理として食されています。

### 神社の歴史を物語る七本杉

神社参道を進み、随神門を抜け、拝殿を正面に拝む領域に入ると、幹に注連縄が巻かれた一際大きい七本杉を目にすることができます。樹齢およそ1200年余りと言われ、河口浅間神社の歴史の古さを物語る七本杉は、昭和33年6月19日に山梨県の天然記念物に指定されています。7本の杉には各々名称および由来があり、この度、各々の杉を紹介する案内板が整備されました。ここでは、その内容を以下にご紹介します。

1号杉 御雨杉(みしろし杉) 母衣懸杉(ほろかけすぎとも言う) 例大祭孫見祭の祭事のおりに産着を懸けた聖樹 根回り13.30m 樹高46.00m

2号杉 産謝杉(うぶや杉) 産屋杉(うぶやすすぎとも言う) 誕生、分娩を守る浄樹 根回り9.65m 樹高46.00m

3号杉 齡鶴杉(れいかく杉) 齡棒杉(れいぼうすぎとも言う) 勅使、甲斐への下向の際、お手植えの杉 根回り12.40m 樹高46.50m

4号杉 神綿杉(しんめん杉) 献虫巢杉(けんちゅうすぎとも言う) 大樹に巣を作った山蚕の繭で真綿を紡ぎ、朝廷に献上したという古蹟 根回り18.65m 樹高47.00m

5号杉 二柱杉(ふたはしら杉) 男 父(かぞ) 根回り18.30m 樹高47.50m

6号杉 二柱杉(ふたはしら杉) 女 母(いろ) 根回り15.50m 樹高42.50m

5号6号二柱杉、男対女 その交媾によって創造の世界を生ずることを形姿に現した神樹

7号杉 天壤杉(てんしょう杉) 御柱杉(みはしらすぎとも言う) 天壤と共に無久無限の象徴とされる。天空に聳える姿。

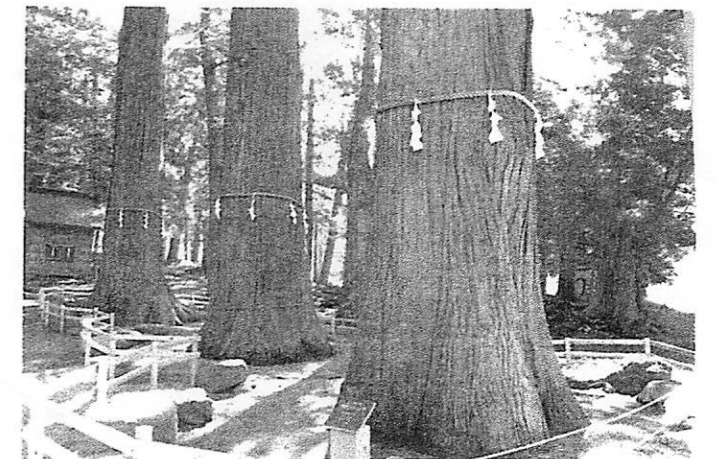


図-3 2号3号4号杉